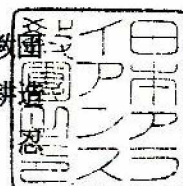


2014年7月9日

日本アライアンス教団
各教会・伝道所 御中

日本アライアンス教団
理事長 田村耕
伝道部長 田中



「 2013年度 東日本大震災支援献金のご報告とお願い 」

主の御名を賛美いたします。

さて、2011年3月11日、東日本を襲った大地震と大津波により被害を受けた人々を支援するために、引き続いて2013年度も支援献金を教団事務局までお送り下さいましたことを、深く感謝いたします。本支援献金は、下記の表に示していますように、教団の支援ボランティア活動費として用いさせて頂きましたことをご報告いたします。次年度繰越金は、2014年度の支援ボランティア活動費と日本アライアンス・ミッションが石巻ニューライフセンターで行っている活動の支援費として用いる予定です。

2013年度 東日本大震災支援献金 会計報告

収 入		支 出	
前年度繰越金	1,597,811	支援ボランティア活動費	59,389
支援献金	248,708		
利 息	357	次年度繰越金	1,787,487
合 計	1,846,876	合 計	1,846,876

< 2013年度 支援活動報告 >

- ① 第1回東北支援ボランティア活動を、8月26日～29日、石巻ニューライフセンターを拠点として行い、5名が参加した。
 - 1日目：小手指教会を自家用車で出発し、石巻ニューライフセンターに到着。
 - 2日目：男性は水産加工所で魚の水揚げの仕事、女性は教会で鍼灸治療の手伝い。
 - 3日目：現地の被災者から直接お話を聞き、祈りの時を持った。
 - 4日目：石巻ニューライフセンターでの祈り会の後、出発、小手指教会に到着。今回の活動を通して、目に見える生活環境は回復しているが、現地の人々の心の傷はまだ癒されていないことを知ることができた。そのような人々と交わって話を聴き、心の声に耳を傾けることも大切なボランティア活動であることを教えられた。
- ② 第2回東北支援ボランティア活動を、11月1日～4日に予定し、教団内の各教会にお知らせをしたが、参加者が集まらず中止となった。

< 今後の支援活動についてのお願い >

東北の被災地に暮らす人々の支援の必要性から、教団としては今後4年間程度支援活動を続けていくことを昨年9月の理事会において決めました。支援活動の内容としては、石巻ニューライフセンターの働きを、人的、経済的に支えていくことです。

本年3月まで、石巻ニューライフセンターに住んで支援活動をされていたCAMAのリーガー夫妻は、その奉仕を終えられ、現在は、日本アライアンス・ミッションのアラン・クロップ宣教師とヤング宣教師ご夫妻が、支援活動と伝道活動を進めています。

教団としては、昨年、中止となった第2回の東北支援ボランティア活動を、本年8月に行うために準備をしているところです。

諸教会において、東北の被災地を視察することを計画する場合、また個人で石巻ニューライフセンターに行かれて奉仕を検討される場合でも、まず伝道部までお知らせください。現地の詳しい情報や、奉仕の内容をお伝えすることができます。

以上の内容をご理解下さり、本年度も皆様方のご加禱とご支援を宜しくお願い申し上げます。